

2021 年度 愛臨技一般検査研究班 6 月研究会
アンケート集計結果

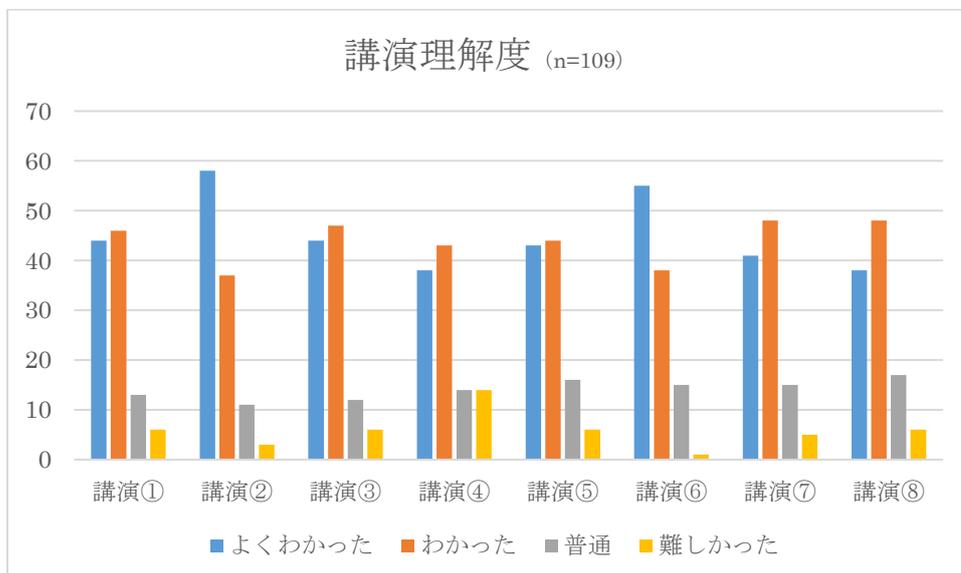
作成日：2021 年 7 月 10 日

感想（抜粋）

- ・色々なことの発見、対応には他部署との連携が大切と全体を通じて感じました。
臨床や検査他部門との連携が上手くできている施設での素晴らしさを感じた。見習いたい体制です。
- ・UF5000 の機器導入を考えていたので BACT-info の話しは有意義でした。
- ・カルプロテクチンについて初めて知ることができました。ありがとうございます。
- ・バリエーションに富んだ講演で参考になりました。
- ・色々な症例から詳しく学ぶ事ができ、とても勉強になりました。
- ・特殊な症例に出会うことは少ないため、所見を知る知らないが異常に気づけるポイントとなってくる。
今後も勉強会などでさらに取り上げて欲しいと思う。
- ・ルーチン検査から得られた結果に疑問を持ち続け、臨床と繋がりを持ち確認する事が大切であると
この研修を通して感じました。
- ・多々ある視聴形式のなかで、本 web 視聴が見逃し見返しができる点など、
zoom 形式よりも理解しやすいため、この形式で続けていただきたい。

各講演の理解度について

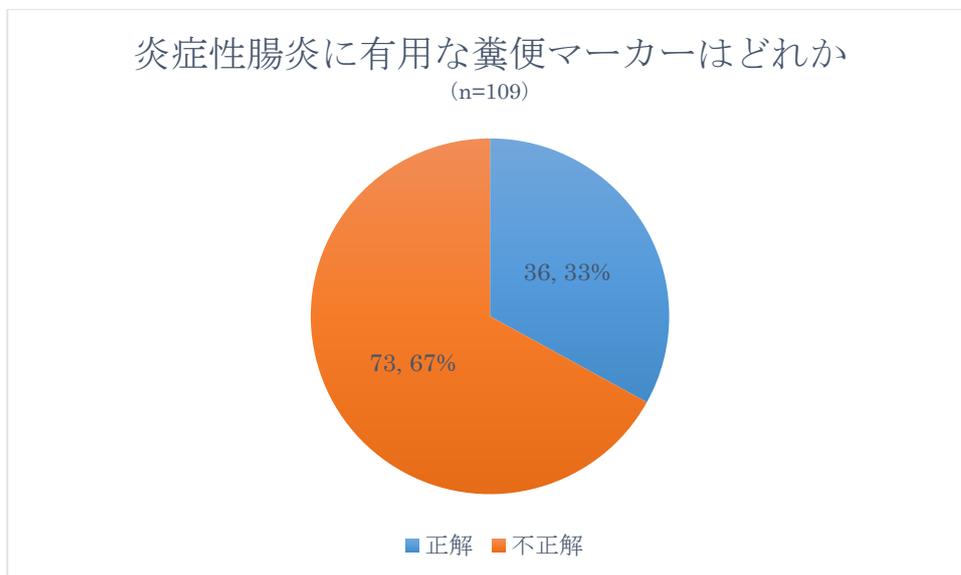
- 講演① 潰瘍性大腸炎治療薬メサラジンによるブドウ糖試験紙異常発色機序の検討
- 講演② 尿沈渣検査所見が膀胱破裂疑いを導いた一例
- 講演③ 尿沈渣中に小集塊状の出現様式を示した IgA- κ 型多発性骨髄腫の一例
- 講演④ 関節液検査における固定方法とセルブロック作成の有用性について
- 講演⑤ 腎炎を伴う IgA 血管炎の 1 症例～腎生検後に尿沈渣所見が悪化した 1 例～
- 講演⑥ 尿沈渣中にコンタミネーションが原因でダニ、原虫類を認めた 2 症例
- 講演⑦ 尿中有形成分分析装置 UF-5000 を用いた尿路感染症スクリーニングの有用性評価
- 講演⑧ 消化管疾患における便中マーカーの役割



炎症性腸炎（IBD）検査に有用な糞便マーカーはどれですか？

正解 カルプロテクチン、ラクトフェリン

（※カルプロテクチンはすべての回答者において回答できていたが、ラクトフェリンが回答できていないものが多くみられた。）



質問 個別に返信にて回答させていただきます。